

【横須賀】日本釣振興 50人の子供たちが、それぞれ放流した。

荒崎での放流前に今井

会神奈川県支部はこのほど、横須賀市の長井町地先の海にカサゴ種苗を放流した。県栽培漁業協会が愛知県の種苗生産事業者から購入、供給した体長約7〜8センチの稚魚で、長井港に4000尾、荒崎海岸に1000尾を放流。同海岸ではマイクロプラスチックゴミの漂着調査も行った。

長井港ではJF長井町漁協の太田議組合長らが参加し同漁港の消波ブロック上から、荒崎では同地区のまちおこし団体

横須賀でカサゴ種苗放流

日釣振神奈川県支部

マイクロプラスチック調査も

「地域の未来を考える会」が行った「荒崎海岸クリーンフェスタ2019」に参加した親子連れ約1

が食い荒らされ海の砂漠

利為県栽培協専務は、地先の海はアイゴやウニの食害でカジメなどの海藻が相模湾で行うマイクロプラスチック調査に協明したうえで「海を豊かにするために大きく育つ会員が40センチ四方の砂の中心で帰ってきて、と舌を掛ける」と呼び掛けた。「クリーンフェスタ」会場では、県環境センタ子に海の環境保護を訴え



荒崎海岸では子供たちが放流